

令和元年矢巾町議会定例会9月会議

一般質問議員と質問事項一覧表

| 受付番号 | 質問議員 | 質問事項 | 答弁者 |
|------|---------------|--|---------------------|
| 1 | 10番 昆 秀一 | 1. 障がいを持つ方々への支援について | 町 長 |
| | | 2. 認知症対策について | 町長・教育長 |
| | | 3. 効果的な会議について | 町長・教育長 |
| | | 4. 行政職員の役割等について | 町 長 |
| | | 5. 子育て支援の充実について | 町 長 |
| 2 | 9番 赤丸 秀雄 | 1. 町内の公共交通について | 町 長 |
| | | 2. 子どもを育む教育課題について | 教 育 長 |
| | | 3. 町人口3万人構想実現の課題(宅地)について | 町 長 |
| 3 | 5番 村松 信一 | 1. 自然と共存するための取組みについて | 町 長 |
| | | 2. ひきこもり対策について | 町 長 |
| | | 3. 学校運営について | 教 育 長 |
| 4 | 15番 山崎 道夫 | 1. ふるさと納税に対する取組みについて | 町 長 |
| | | 2. 買い物をサポートする「高齢者にやさしいスーパープロジェクト」の取組みについて | 町 長 |
| | | 3. 矢幅駅北側の上杉踏切整備に伴う全面通行止めの問題点について | 町 長 |
| | | 4. 通学路等における倒壊危険ブロック塀の安全対策について | 町長・教育長 |
| 5 | 8番 水本 淳一 | 1. 交流人口増の対策と近隣市町との連携について | 町 長 |
| | | 2. ふるさと創生事業とその後の事業展開について | 町 長 |
| 6 | 14番 小川 文子 | 1. メディカルフィットネス推進事業について | 町 長 |
| | | 2. デマンド型タクシーと市街地循環バスについて | 町 長 |
| | | 3. やはばーくに外階段の設置を | 町 長 |
| 7 | 13番 川村 よし子 | 1. 交通安全対策について | 町 長 |
| | | 2. 保育士・介護職員の待遇改善について | 町 長 |
| | | 3. 在宅高齢者対策について | 町 長 |
| 8 | 4番 谷上 知子 | 1. 学校給食について | 教 育 長 |
| | | 2. 外国人との共生について | 町 長 |
| | | 3. 女性の登用と男性の育児参加を | 町 長 |
| 計 | 8名 26件 | 【一般質問実施日】 令和元年9月4日(水)午前10時 ※受付No.1～4 令和元年9月5日(木)午前10時 ※受付No.5～8 | 町 長 23件 教 育 長 6件 |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|----------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. 1 | 令和元年8月21日 | 午前・ 午後 9時00分 |
| 議席番号10番 | 昆 秀 一 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 障がいを持つ方々への支援について (答弁者) 町長</p> <p>これまで何度となく障がい福祉の関係について問いながら意見してまいりましたが、やはり当事者の意見というのは非常に重いと感じずにはられません。身近に障がいをお持ちの方がいたり、要介護者にお話を聞く機会が多くあることから、その声をできるだけ取り上げて、議会にて述べさせていただいていますことから、以下お伺いいたします。</p> <ol style="list-style-type: none">① 障がい児に対する教育・福祉・医療の連携体制をどのように構築して実行されているのか。② 医療的ケアを要する障がい児に対する支援をどうしているのか。③ 重度障がい児(者)の介護者に対するレスパイトについては、どのように取り組んでいるのか。④ 障がい者の就労についての支援の考え方は。⑤ 障がい者の地域での共生については、どのように取り組んでいるのか。また現在の課題をどう考えているのか。 |

| | |
|-------------|--|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 認知症対策について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>本町では、地域包括支援センターにて認知症支援ネットワークを構築して支援活動を行ってきていますが、これからの認知症患者や予備軍、その家族に対する支援についてお伺いいたします。</p> <p>① 共生と予防を車の両輪として施策を推進していくと、首相が表明しましたが、本町として共生と予防についてはどう取り組むつもりなのか。</p> <p>② 認知症ケアパスの活用をどう進めていくのか。</p> <p>③ 普及啓発、認知症の方本人の発信への支援についての取り組みは。</p> <p>④ 認知症バリアフリーの推進は。</p> <p>⑤ 認知症サポーターへのその後の支援策は。</p> <p>⑥ 認知症カフェの現状と今後は。</p> <p>⑦ 認知症の教育の中での取り組み方は。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 効果的な会議について (答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>現在、町職員はじめ町民の方々が様々な場で会議において議論を行っています。この議会も議論の場でありまして、ほかにも総会などの会議やワークショップ・各種懇談会でも様々な形態で議論が行われてきています。</p> <p>少なくとも、町で行われている議論の場においては最低限のマナーやルールを、会議の参加者にしっかりと認識してもらう必要があるのではないのでしょうか。その上で円滑でより効果的な議論ができ、町の発展にも寄与するものと考えるところから、以下お伺いいたします。</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>① 学校での議論の仕方は教育ではどう扱っているのか。</p> <p>② 各種会議での議論のルールをどう示して進行しているのか。</p> <p>③ ワークショップ等によるファシリテーター・書記の役割と、その養成をどう行っているのか。</p> <p>④ 離れた場所とのスカイプなどのインターネット会議の活用をどう考えるのか。</p> <p>⑤ 各会議の議事録の作成・保存・情報開示は、どう行われているのか。</p> <p>⑥ 各会議の結果を具体的にはどのように活用しているのか。</p> |
| <p>質問 4</p> | <p>(質問事項) 行政職員の役割等について (答 弁 者) 町 長</p> <p>町政運営を行うにあたって、行政職員の方々の役割は非常に重要であります。特に地方分権時代においては、地方自治体の仕事とは何かということを改めて考えて働くことも必要になってきます。</p> <p>そこで、職員のさらなる仕事力を向上するにあたって、以下お伺いいたします。</p> <p>① 職員研修のコンセプトは、年度ごとの設定をどう行っているのか。</p> <p>② 職員の基本は文章力ともいわれるが、どのように職員の文章力を養成しているのか。</p> <p>③ 職員の真価は交渉力ともいわれるが、交渉時の留意点を各職員はどう考えてあっているのか。</p> <p>④ 上司と部下の接し方や人材育成の方法をどうしているのか。</p> <p>⑤ 会計年度任用職員の働き方についての考えは。</p> <p>⑥ アウトソーシングの活用策についての考えは。</p> |

質問 5

(質問事項) 子育て支援の充実について

(答弁者) 町 長

「子ども・子育て支援新制度」が始まってから4年、現在の進捗状況を踏まえながら、次期子ども・子育て事業計画の策定を進めていくとのことですが、そのことを含め子育て支援について、以下お伺いいたします。

- ① 今まで子ども・子育て支援事業を実施してきた、本町の子ども・子育てについてどのような特色を持ち、特に力を入れるべきことをどう考えてきたのか。
- ② 認定こども園の現在の状況と今後の考え方について。
- ③ 子育て支援拠点事業の活動内容について、特に重要と感じられることはあるか。
- ④ 保育士に対する処遇の改善策は。
- ⑤ 幼保無償化による課題と今後の見通しは。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|-----------------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. <u>2</u> | 令和元年8月21日 | 午前・ 午後 9時00分 |
| 議席番号 <u>9</u> 番 | 赤丸秀雄 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 町内の公共交通について (答弁者) 町長</p> <p>町内のバス路線が廃止・縮小される現状や高齢による運転免許証返納者が増加しております。そのような中、町内を運行するデマンド型タクシーは、利用しづらいという声を多くの町民から聞きます。町は、導入時に、1年程度の運営状況を踏まえ、また町民の声を把握し、利用しやすい交通手段に改善を図ると答弁していることから、以下伺う。</p> <p>① デマンド型タクシーについて、当初の計画に対し、半年間運行しての利用状況をどのように捉えているか、支出経費と合わせて伺う。</p> <p>② 半年間の運行し、ある程度改善する点が見えたと思うが、改善に向けてどのようなスケジュールで取り組む方針か伺う。</p> <p>③ 全国では、デマンド型タクシー運行を取りやめた失敗例がある。町では、改善策へそのような事象をどう反映させようと考えているか伺う。</p> <p>④ 町のイベントは休日の開催が多いが、交通手段のない方の対応を町ではどのように考えているか伺う。</p> <p>⑤ 9月20日から循環バス(コミュニティバス)を運行する旨の説明があった。運行ルートや利用対象者、町民の意見聴取をどのように捉え設定されたか、その経緯を伺う。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 子どもを育む教育課題について (答 弁 者) 教育長</p> <p>現代社会において、少子高齢化・核家族化・IT等の普及による会話の減少など、教育の環境として深刻な状況であります。町では、近い将来を見据えて、子どもを育む取り組みをどのように考えるか以下伺う。</p> <p>① 教育行政方針で述べられた矢巾型コミュニティ・スクール構想の取り組み状況は、どのようになっているか伺う。 ② 4月に行われた全国学力・学習状況調査が8月に公表されましたが、当町の学力は県内や全国と比較してどのような状況であったか伺う。 ③ 夏休みなど長期休み明けは、不登校が多くなる傾向であると言われるが、当町の現状と対応状況を伺う。 ④ 小学校にプログラミング教育や英語教育が導入されるが、ハード・ソフト両面の準備状況について伺う。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 町人口3万人構想実現の課題(宅地)について (答 弁 者) 町 長</p> <p>町の人口3万人構想に向けた大きな課題のひとつに、矢巾町に住居を構えたいが空いている土地は高額でサラリーマンには購入できないという状況があります。このことを踏まえて以下伺う。</p> <p>① 市街化区域編入のスケジュールはどうなっているのか。また、編入後の開発計画について伺う。 ② 都市計画マスタープラン策定後、町民等から求められて説明会開催を何カ所で行ったか。また、参加者からは、どのような意見が出されているか伺う。</p> |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|-----------------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. <u>3</u> | 令和元年8月21日 | 午前・ 午後 9時00分 |
| 議席番号 <u>5</u> 番 | 村松 信 一 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 自然と共存するための取組みについて (答弁者) 町 長</p> <p>本町では、今後医大移転に伴う交流人口の増加等により、癒しとして身近に自然を楽しむ場所を求める人が増加する事が予想されます。そこで以下伺います。</p> <p>① 人が踏み込むことによって今の自然が損なわれることがあってはならないと考える。現在、西部地域にはヒメボタルや貴重な原生植物等の生息地があるが、こうした繊細な動植物を末長く残すためには、自然のままを維持する工夫と対策が必要であると考えているがどうか。</p> <p>② 真夏に美しい花を咲かせる矢巾町の花、ヤマユリはかつて町内に多く自生していたが、現在は環境の変化等により激減している状況である。増殖や保護等を計画してはどうか。</p> <p>③ 花いっぱい運動の県道不動盛岡線の植栽は、町内外からの評価が高い。現在の植栽は約1.5kmほどであるが、未活用の花壇も残っている。未活用花壇の活用をどう考えているか。</p> |

| | |
|-------------|--|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) ひきこもり対策について (答 弁 者) 町 長</p> <p>仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人と交流をほとんどせずに6カ月以上続けて自宅にいる「ひきこもり状態」の人が内閣府の推計で100万人を超えるとされ、岩手県では地域住民の社会活動に関する実態調査の中でひきこもりの調査がなされております。そこで以下伺います。</p> <p>① 本町では、ひきこもりの実態調査を実施しているか。 ② ひきこもりに対する相談体制はどうなっているか。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 学校運営について (答 弁 者) 教育長</p> <p>① 通学時のランドセルやカバンが重くなり児童生徒の大きな負担となっていることから、教科書や道具類を学校に置いておく「置き勉」を認めるよう、平成30年9月に文部科学省から通達がされております。児童生徒の負担軽減のため、置き勉に対する考えを伺う。 ② 矢巾町いじめ防止に関する条例と各学校のいじめ防止のための基本方針について、いじめの早期発見のため、定期的なアンケート調査や教育相談の実施、電話相談窓口の周知等により、学校組織を挙げ、児童等一人ひとりの状況把握に努めることになっているが、その取組み状況について伺う。 ③ 公共施設等総合管理計画の個別施設計画を策定中であるが、学校施設について、早期に対応しなければならない施設はあるか。 ④ 公共施設等総合管理計画の中で、将来的な学校施設等の統廃合について検討したことはあるか。</p> |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|----------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. 4 | 令和元年8月21日 | 午前・ 午後 9時25分 |
| 議席番号15番 | 山崎道夫 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) ふるさと納税に対する取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>8月2日、総務省は2018年度のふるさと納税による岩手県への寄付額が、前年度の1.4倍の50億4,969万円になったと発表した。3年連続で過去最多を更新し、47都道府県中23位であり、市町村別では本町の15億437万円がトップで、8.7倍に急増したと報道された。</p> <p>こうした状況の中、高橋町長は以前議会答弁において、地域活性化に向けた自治体の取り組みを支援する「企業版ふるさと納税」制度について、今後、活用を検討していきたい旨の考えを述べた経緯があると記憶しているが、ふるさと納税に対する取り組みについて以下伺う。</p> <p>① 本町のふるさと納税は、16年度の396万円から2年で380倍に急増し、歳入の1割弱を占めるまでになったが、その主な要因と、返礼品等の経費はどの程度か。</p> <p>② ふるさと納税額の県内と県外の比率、また寄付金の具体的活用方法を示されたい。</p> <p>③ 今年度における納税状況と今後の展望はどうか。</p> <p>④ ふるさと納税を通じ地方に関心が高まり、寄付者との交流が実現し地域おこしイベントに参加するなど、「参加型」制度を目指すためにも、寄付金の使い道をしっかり公開し、地域振興に役立っていることを発信することが肝心だと思うがどうか。</p> |

| | |
|------------|--|
| | <p>⑤ 企業版ふるさと納税について、政府は制度の期限を5年ほど延長し、企業の税軽減を来年度から約9割に引き上げる方向で調整に入ったとの報道がされたが、町として今後この制度を活用し、産業振興や移住定住促進、空き家対策や少子化対策など、地域活性化事業に活用するべきと考えるがどうか。</p> |
| <p>質問2</p> | <p>(質問事項) 買い物をサポートする「高齢者にやさしいスーパープロジェクト」の取り組みについて (答弁者) 町長</p> <p>今年の7月11日から毎週木曜日、滝沢市にあるスーパーマイヤ滝沢店において、医師会やスーパーマーケット、市など関係団体が連携し、認知症患者や高齢者らの買い物をサポートする取り組みが始まったとの報道がされた。まさに時宜を得た取り組みであると感心させられた。</p> <p>今後、本町においても年々高齢化が進み、併せて認知症患者も増える傾向にあると思われる中、買い物に行った場合、商品を見つけることやスムーズな会計が難しい住民が増えることは容易に想像できる。</p> <p>したがって、滝沢市のように週1日、午後1時から2時間程度、高齢者らの買い物客が補助を希望した場合、サポーターが付き添い、商品の場所を案内したり、かごを持って支援する体制を作ることが求められているのではないのか。このことによって安心して買い物ができることにつながり、高齢者や認知症患者に優しい町を目指す上で、取り組む価値があると感じた。</p> <p>今後、本町として、仮称「高齢者にやさしいスーパープロジェクト」を立ち上げ、協力店をお願いしたり、認知症サポーター養成講座を開き、地域住民や協力店の従業員が認知症への理解を深める取り組みなどを行い、高齢者や認知症患者らの買い物をサポートする体制づくりを進めるべきと考えるが見解を伺う。</p> |

質問 3

(質問事項) 矢幅駅北側の上杉踏切整備に伴う全面通行止めの問題点について

(答弁者) 町 長

上杉踏切の改良工事は、2014年度に「早急に改良が必要な踏切」として法指定を受け、現在幅員7メートルを歩道分3.5メートル拡幅して10.5メートルの幅員にする工事であり、19年度と20年度に施工予定であることは知っていたが、8月23日から12月20日までの約4カ月間に亘って全面通行止めにするということについては、踏切に予告掲示板が立つまで知り得なかった。また、来年度さらに5月から2カ月間も通行止めにするということについて、8月7日の新聞報道で知ったところである。

なぜこのように長期間にわたって通行止めしなければならないのか、日常的に踏切を通行する多くの町民が疑問を持っている。

そもそも線路内における工事は、上下線の終電が通った後、始発までの約180分で工事を進める事が通常であり、その時間帯は夜中の午前1時前後から朝方の4時前後ぐらいと思われる。したがって、少なくとも日中は歩行者や自転車の通行は可能であり、町民が通院等で不便をきたすことを回避することは可能だと思われる。

以上のことから、今年の約4カ月間に亘る期間の工事内容と、来年度の2カ月間に亘る工事内容について明らかにすると共に、多くの町民が不便をきたすことをできるだけ回避することを念頭にしながらJRとの協議を行ってきたのか、明らかにされたい。

質問 4

(質問事項) 通学路等における倒壊危険ブロック塀の安全対策について

(答 弁 者) 町長、教育長

昨年6月の大阪府北部地震によるブロック塀の倒壊事故を受け、町内における危険箇所の点検を実施した結果と、危険箇所の安全対策について以下伺う。

- ① 国土交通省が示すチェックポイントに不適合だった危険箇所はどの程度あったのか。また、通学路に面している箇所はあったのか。あったとすれば、どのような対策を講じたのか。
- ② 緊急輸送道路、指定緊急避難場所や指定避難所に通じる道路に面している危険箇所はあったのか。
- ③ 通学路及び上記に記した箇所に面した危険箇所の個人所有はあるのか。
- ④ 個人所有のブロック塀の除去費用等に対し、補助している自治体もあるが、本町としても子どもたちの安全確保の観点から補助について検討するべきと考えるがどうか。

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|-----------------|-----------|--------------------------|
| 受付 No. <u>5</u> | 令和元年8月23日 | 午前・ 午後 9 時00分 |
| 議席番号 <u>8</u> 番 | 水本 淳一 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 交流人口増の対策と近隣市町との連携について (答弁者) 町長</p> <p>以前は、一般的に人口の増加を図ることが行政の目標とされていた。しかし、地方都市等においては、少子化により若者の数が減って行く反面、行動範囲が狭くなりがちな高齢者の割合が一段と高まり、「都市の活力」の減退が懸念されてきた。このことから、今では「定住人口」ではなく、交流人口を増やすことにより、地域の活力を高めていく意識が一般化しつつある。</p> <p>矢巾町では今月21日の岩手医科大学附属病院開院に向け、交通網の整備等が急いで進められている。今後矢巾町は、交流人口の増加が予想され、色々な事業に対し、近隣市町との連携が必要になってくると思われる。交流人口の増加という観点から、以下について伺う。</p> <p>① 更なる交流人口の増加に向け考えている施策は。</p> <p>② 南昌グリーンハイツの閉館により、町民が利用できるプールが町内に無くなり、新たな施設を望んでいる人も多いと思われる。昨年10月の町議会議員の有志で構成する議員連盟の総会において、県営プールを矢巾町へ誘致したい旨の説明が岩手県水泳連盟の方からあったが、誘致についての町の考えは。また、広域市町とはどのように話し合われているのか。</p> <p>③ お互いに隣の市町へ出かける方が多いと思われるが、現</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>在のデマンドタクシーは町内の周辺地域と中央を結ぶだけになっている。デマンド型交通を含め、より充実した公共交通網を形成するため、近隣市町との連携が必要と思うが、その考えについて。</p> |
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) ふるさと創生事業とその後の事業展開について (答弁者) 町 長</p> <p>竹下内閣で行われたふるさと創生事業において、町ではさまざまな取り組みを行ったようであるが、以下について伺う。</p> <p>① ふるさと創生事業で矢巾町が行った事業の目的と内容について。</p> <p>② この事業による成果と、現在継続している取り組みの今後の事業展開について。</p> |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|----------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. 6 | 令和元年8月23日 | 午前・ 午後 9時00分 |
| 議席番号14番 | 小川文子 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) メディカルフィットネス推進事業について (答弁者) 町長</p> <p>町民の健康増進のため、岩手医科大学と連携した医学的見地を用いた「メディカルフィットネス推進事業」を病院敷地内のコスモス棟で実施することについて、以下伺う。</p> <p>① 医大病院内の施設で実施する事業の主体が矢巾町である理由を伺う。</p> <p>② 対象は町民、町内法人、岩手医大関係者、周辺市町住民としているが、町民はどの位の人数を想定しているのか。</p> <p>③ 総事業費は3年間で2億6,530万円と膨大であるが、その内訳を示されたい。</p> <p>④ 利用料金は公募で選定された事業者が設定するが、月額どの位を想定しているのか。</p> |

| | |
|-------------|---|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) デマンド型タクシーと市街地循環バスについて (答 弁 者) 町 長</p> <p>3月よりデマンド型タクシーの試験運行が始まり、9月から市街地循環バスの試験運行が始まることから、以下伺う。</p> <p>① デマンド型タクシーの8月までの利用状況はどうか。</p> <p>② 町民や議会から出された改善要望の取り組み状況は。</p> <p>③ 循環バスの医大循環線は、岩手県交通の便と競合するのではないか。</p> <p>④ 市街地循環バスについて、バス事業者に委託するとしているが、タクシー事業者に委託してはどうか。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) やはぱーくに外階段の設置を (答 弁 者) 町 長</p> <p>京都アニメーションの放火による痛ましい事件を受けて、改めて二方向避難の確保、外階段の必要性を感じた。以前議会でも提案したが、やはぱーくにも外階段を設置すべきではないか。また、3階の避難シューターを使用した訓練を実施しているのか。</p> |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|-----------------|-----------|-------------------------|
| 受付 No. <u>7</u> | 令和元年8月23日 | 午前・ 午後 9時30分 |
| 議席番号 <u>13番</u> | 川村よし子 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 交通安全対策について (答弁者) 町長</p> <p>国では、東京オリンピックや交通インフラの老朽化を受け、交通安全施設の予算を増額している。町は、岩手医大病院の開業を控え、町道中央1号線を中心に整備を進めている。今後、医大病院開業と同時に交流人口の増加が予想され、住民の命を守る身近な交通安全施設の整備が望まれることから、以下3点について伺います。</p> <p>① やはば一く前の交差点に、信号機はいつ設置予定か。 ② 通学路を含め、地域から要望が出されている交通安全施設の整備は、どう計画しているのか。 ③ 今後の生活道路整備計画はどうか。</p> |
| 質問2 | <p>(質問事項) 保育士・介護職員の待遇改善について (答弁者) 町長</p> <p>町内で働く保育士・介護職員の人材不足が長期化している。生活が安定し安心して働ける環境づくりや待遇改善が必要と考えることから、以下2点について伺います。</p> <p>① 町内の保育所・介護施設で、安心して働き続けられる環境づくりや待遇改善が必要と考える。保育士・介護職員の</p> |

| | |
|------------|---|
| | <p>定着について、どう把握しているか。</p> <p>② 県の制度である保育士の奨学金返済免除制度の利用状況はどうか。今後、町として保育士を増やすため、奨学金返済免除制度の利用者を増やす取り組みや、町独自の取り組みが必要ではないか。</p> |
| <p>質問3</p> | <p>(質問事項) 在宅高齢者対策について (答弁者) 町長</p> <p>独居高齢者・高齢者世帯が増加する中で要支援1・2が介護保険から除外され地域包括ケアで日常生活を把握し、見守るとか一部支援する状況になり、町ではエンジョイやはばネットワーク事業を開始した。顔見知りの身近な支援者が公民館に参集して行事を開催するほか、職員が家庭訪問し生活調査や保健指導をすることも必要と考えるが、今後の対策について以下3点伺います。</p> <p>① 老々介護や認知症介護も多くなっているが、定期的な家庭訪問を行うことが大切と考えるがどうか。</p> <p>② 介護認定前の認知症とみられる高齢者の介護者への支援体制、また地域の援助体制はどのように計画されているのか。</p> <p>③ 認知症とみられる高齢者の徘徊対応は、どのように行っているのか。また、支援事業に自己負担はあるのか。</p> |

一般質問通告書

矢巾町議会議長 藤原由巳 殿

| | | |
|-----------------|-----------|--------------------------|
| 受付 No. <u>8</u> | 令和元年8月23日 | 午前・ 午後 10時40分 |
| 議席番号 <u>4</u> 番 | 谷上知子 | |

| 番号 | 質問要旨 |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 学校給食について (答弁者) 教育長</p> <p>学校給食に対する期待は児童生徒も家庭でも大きく、学校生活での楽しみの時間になっています。センター方式になってから始めた15年の実績を持ち、全国的にも評価される地場食材を使った学校給食。地場食材の活用が開始当時12.6%から現在50%まで増加している学校給食について伺います。</p> <p>① 地場食材の活用は今後どのように進めていくのか。 ② 給食費の集金方法を口座振替にする考えはないか。</p> |
| 質問2 | <p>(質問事項) 外国人との共生について (答弁者) 町長</p> <p>近年、町内でも、外国人を見かける機会が多くなったことから、地域で暮らす外国人との交流について伺います。</p> <p>① 挨拶や簡単な会話の普及対策のため、外国語教室を実施してはどうか。 ② ゴミ出し等の生活ルールを外国人に周知する必要があると思われるが、現在どのようにしているのか。</p> |

質問3

(質問事項) 女性の登用と男性の育児参加を
(答弁者) 町長

男女共同参画推進法が制定され、女性の参画と登用が社会に必要であり、男性の育児参加が家庭内にゆとりを生み、子供の健やかな成長が期待できます。女性の登用と参画、男性の育児参加の進捗状況を伺います。

- ① 矢巾町役場における女性管理職の人数は。また、男性職員の育児休暇の取得状況は。
- ② 各団体において、女性役員の登用が少ないと思われる。女性役員を増やし、意見を反映させる必要があると考えるがどうか。